

2025. 7. 31

環境省「令和 7 年度 ESG 地域金融の普及・促進事業」の採択について

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、環境省が実施する「令和 7 年度 ESG 地域金融の普及・促進事業（ESG 地域課題解決支援プログラム）」の支援先金融機関として採択されましたので、その概要をご案内します。

なお、本事業の採択は令和 4 年度から 4 年連続となりました。

1. ESG 地域金融の普及・促進事業について

- 環境省では、環境・社会に対するインパクトの創出、地域の持続可能性の向上等に資する取り組みを支援するため、ESG 地域金融の普及・促進事業を実施しています。
- 本事業の「ESG 地域課題解決支援プログラム」では、ESG 地域課題を認識・特定し、これらの緩和・解決を目的として持続可能な地域づくりの実現に向けた新たなテーマでの金融機関の価値提供モデルの創出に取り組む金融機関の活動を支援しています。

2. 採択された静岡銀行の事業について

事業名	海を巡る地域資源を起点とした循環型地域経済の創出による地域活性化への取組
概 要	○静岡銀行では、グループの第 1 次中期経営計画のビジョンに掲げる「未来へつなぐ新たな価値を創造する課題解決型企業グループ」をめざし、地域やお客さまが抱えるさまざまな課題解決の支援に取り組んでいます。 ○また、本計画の基本戦略「地域共創戦略」の一環として、お客さまの ESG への取り組みを資金面から支援するサステナブルファイナンスの推進に注力するなか、「中小企業向けポジティブ・インパクト・ファイナンス(※1)」等を通じて、地域とお客さまの継続的な発展をめざした伴走支援を実施しています。 ○昨年度の「ESG 地域金融の普及・促進事業」では、静岡県茶農家等で茶業離れが加速している中、県内の製茶産業の活性化に向けて、「製茶産業の地域課題の把握および解決案の策定」に取り組んできました。 ○令和 7 年度は、県内観光地の熱海や西伊豆地域等において「海業」(※2)を起点とし、異業種との事業連携や対象エリア拡大による「循環型地域経済の創出」、地域ブランド力向上につながる事業モデルの構築、自治体との連携型地域イノベーション・プラットフォーム構築案を検討し、静岡銀行の地域共創戦略や自治体とベクトルを合わせながら、魅力ある地域づくりを通じた地域経済の活性化に取り組みます。 ○今後も、お客さまの課題解決に向けた伴走支援体制の強化に努めるとともに、地域の持続的な成長をめざして、社会価値創造と企業価値向上の両立に取り組んでまいります。

※1 企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面において与えるインパクトを包括的に分析し、特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資

※2 漁港施設を釣り体験や宿泊施設として活用し、海上釣りや調理体験イベント等を通じて集客力向上を図る